

平成30年 4月 18日

野々市市議会議員 様

(報告者)

会派名 〔又は〕 会派 互鈴
 代表者 〔議員名〕 中村 義彦



政務活動報告書

下記のとおり政務活動(調査研究、研修、要望・陳情)を実施したので、報告します。

期 間	平成30年4月16日から 平成30年4月17日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	兵庫県明石市役所、明石駅
参加者氏名	中村義彦、金村哲夫、辻信行
目 的 (調査・視察事項)	明石市の手話言語条例について、制定までの経緯、結果をご教示いただき、本紙の策定の参考にしたい。明石駅に設置している、手話フォンやタブレット端末の現場を視察。
調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>4月16日(月)午後1時30分からの研修冒頭、泉明石市長から「やさしいまちづくり」について熱いご挨拶があり、その後、福祉総務課山田氏から「差別を解消する条例の取り組み」について、手話言語の確立多様なコミュニケーションの促進、障害者差別解消条例をお聞かせいただきました。市役所と市民センターをタブレット端末のテレビ電話でつないで、手話通訳者のいないところでも通訳サービスが利用できる、駅前の市民サービスセンターの現場を視察しました。</p> <p>4月17日(火)午前10時から障害者(ろう者・難聴者・視覚障害者・精神障害者)団体の代表者5名(その補助員5名の参加)と条例検討委員会を設置し、条例案を取りまとめた経緯と、条例制定後の現状についてお話を聞きました。</p> <p>所感: <u>手話言語条例</u>+<u>情報コミュニケーション条例</u>=手話言語・障害者コミュニケーション条例を制定した明石市の「やさしいまちづくり」のタイトルとその内容は理想的であり、有意義なものでありました。</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。